

平成25年第3回羽村市議会（定例会） 一般質問通告項目一覧表

発言順	議席番号	議員氏名	質問項目	質問日
1人目	6番	大塚あかね (60分)	<p>1. 「ボランティア」について問う</p> <p>(1) ボランティア活動に対する基本的考え（定義）を改めて伺う。</p> <p>(2) ボランティア活動に対する考え方は「他者のための活動」ではなく「全ての人自立した生活を確保できるような、安全と安心と温もりのあるまちづくりへの主体的参加」とする考え方へと変化してきていると言われていたが、市が、ボランティア活動に期待する今日的役割とはどのようなものか。</p> <p>(3) 一定の代価を支払うことで継続性と責任性を確保する必要がある場合もあると考えるが、市は「有償ボランティア」についてどのように考えていくのか。</p> <p>(4) 福祉、環境、観光、教育、防災・防犯等、各分野の行政施策が多様化し、様々な担い手が考えられる（例 有給の正規職員・非常勤職員、協力員、自助グループ、地域住民等）が、ボランティアの受け持ち領域についてどのように考えているのか。</p> <p>(5) 市民活動センターの現在の評価と今後の推進方策について伺う。</p> <p>2. 羽村市の観光施策について伺う</p> <p>(1) 観光ボランティアガイドについて</p> <p>① 観光ボランティアガイドについての見解を伺う。</p> <p>② 羽村市の歴史、観光スポット、名産等、魅力を発信できる方を育成するために、講座等を開催し、観光ボランティアガイドを発足させてはいかがか。</p> <p>(2) 観光案内所について</p> <p>① 「花と水のまつり」時期に開設された観光案内所について、利用者、運営に携わった方からどのような意見や提案が寄せられたか。</p> <p>② 観光案内所は通年開設するべきではないか。</p>	6月10日
2人目	10番	小宮國暉 (60分)	<p>1. 自治体経営に民間経営手法の活用を～行政業務の効率化と改善活動の推進にむけて～</p> <p>(1) 民間経営手法、手段として、「QC（クオリティ・コントロール）的な考え方」を基礎として企業体質を改善していくマネジメント活動、すなわちTQM（トータル・クオリティ・マネジメント）の概念を地方自治体の経営に活かしている事例を把握しているか。また、TQMを導入するうえでの課題は何か。</p>	6月10日

(2)羽村市では行政総合マネジメントシステムを運用しているが、その中にTQMの概念や考え方は入っているか。

(3)第五次長期総合計画実施計画には、新たな経営管理システムの構築が掲げられているが、現行の行政総合マネジメントシステムとの違いは何か。また、システムを改定する目的は何か。

(4)新たな経営管理システムの構築を検討する際、TQMの概念や考え方を取り入れ、行政運営における業務品質向上、業務の効率化や改善活動を推進する手段として活用してはどうか。

2. 認知症対策の充実した取り組みを

(1)市内における認知症高齢者数は今後どのように推移すると予測しているか。

(2)認知症高齢者を介護する家族への支援策は現在どのように行われているか。

(3)認知症に対する啓発活動や早期発見し、進行を抑制するための医療機関との連携は現在どの様に行われているか。

(4)今年3月に東京都が主体となり、広域的取り組みとして、西多摩医療圏認知症疾患医療・介護連携協議会が発足したと伺っているが、その設立目的と、協議会で今後協議されることが羽村市にどのように反映されていくのか。

(5)認知症になっても安心して暮らせるまちづくりのために、認知症サポーターの養成は喫緊の課題であると考えます。そのために市内の小中学生や高校生、町内会、企業団体に働き掛け、認知症サポーターを数多く養成し、相互扶助・協力・連携体制を飛躍的に充実させるべきだと思いがいかか。

(6)家庭介護の負担を軽減し、認知症高齢者が安定した日常生活を営むために必要な、「地域密着型認知症グループホーム」は市内に1か所(ときわ木の里)しか無いのが現状である。今後増設のための施策が重要であると思いがいかか。

3 人目

6 番

橋 本 弘 山
(60 分)

1. 消費税引き上げの市財政への影響について

(1)消費税が8%に引き上げられた場合、歳入面での影響はどのくらいか。(25年度予算ベース比較)

(2)同じく、歳出面での影響はどのくらいか。(25年度予算ベース比較)

(3)消費税増税による法人・個人市民税への影響は考えられるか。平成9年に消費税が3%から5%に引き上げられた際の状況から判断していかかか。

6 月 10 日

4人目

2番

富松 崇
(50分)

(4) この消費税引き上げにより、日本の社会保障制度を持続可能にするための目的であるということをも市民に正しく理解していただくことが必要と考えるがいかがか。

(5) 羽村市として消費税引き上げの前に取り組むべき課題は何か。

2. 土地利用の課題について

(1) 工場跡地利用の状況について

① 現在、市が把握している工場跡地は何か所で総面積はどのくらいか。

② 企業誘致を促進していくうえでの課題は何か。

(2) 現在、羽村市が借用している公共施設用地、樹林地等で相続等により賃貸借契約が継続されない可能性について。

① 現在の借用状況はどうか。(目的別の面積、賃借料)

② 公共用地購入と借用の判断基準があるのか。

③ 喫緊の課題は何か。

④ 将来の羽村市の自然や緑や地形を生かした環境保全についてのビジョンは何か。

3. 防犯灯設置の充実について

(1) 防犯灯と街路灯の定義は。

(2) 防犯灯の設置基準は。

(3) 現在、羽村市が管理する防犯灯と町内会等で管理する防犯灯の状況は把握できているか。

(4) 市管理の防犯灯の電気料は一年間でどのくらいの負担か。

(5) 現在、防犯灯設置の要望はどのくらいあるのか。

(6) 今後の設置計画はどうなっているのか。

(7) 市管理以外の防犯灯について新規設置に対する補助、既存の防犯灯への電気料の補助、またLED化推進のための支援ができないか。

(8) 現在の羽村市の防犯灯の設置基準を見直して一定の戸数を抱える私道にも設置可能にしていくべきと考えるがいかがか。

1. 国民体育大会の準備状況について

(1) 会場設営について

① 一般来場者数はどれくらい見込んでいるか。

② 来場者が会場に入りきれない場合の対応をどのように考えているか。

③ パブリックビューイングの設置予定はあるか。

④ 先日、全日本の選抜大会で練習中にレシーブをした際、コートの木片が刺さった事故があったが、練習会場となる一中・二中の体育館は十分な状態なのか。

⑤ スポーツセンター駐車場に設置する売店の業種、市内事業者のスペースは何店を予定しているのか。

6月10日

5 人目

15 番

水 野 義 裕
(60 分)

- ⑥おもてなしテントの内容は。
- ⑦農産物直売所との連携はどのように考えているか。
- (2) 商業振興の観点から
 - ①市内事業者の出店を募集する方法はどのように行うのか。
 - ②大会中、選手やスタッフ等にお弁当が配られると思うが、お弁当は市内事業者で対応するのか。
 - ③物品調達に市内事業者を優先するべきと考えるが、市の考えは。
- (3) 情報発信について
 - ①現在、どのように情報発信をして啓発活動を行っているのか。
 - ②大会中、どのように羽村の魅力を全国にPRしていくのか。
 - ③現在募集中の羽村市公式キャラクターを国体開催時に活用する考えは。
- (4) 国体開催を機に、今後どのように市民のスポーツ推進を図っていくのか。

1. 行財政改革基本計画・実施計画について

- (1) 達成目標について
 - 達成目標が記述されていない項目については、目標をどのように具体化していくのか。
 - また、それをどのように公表するのか。
- (2) アイデアポストに期待するものは何か。また、市長への手紙との違いは何か。
- (3) FMラジオの活用
 - ①これまでの情報提供の実績はどうか。
 - ②市民の認知度はどうか。
 - ③活用するとなれば、認知度をどうあげていくか。
- (4) 民間活力の導入
 - ①市有財産の処分による活性化では、どんなものを対象に考えているか。
 - ②公共施設民営化では、今後どのような施設について検討するのか。
 - ③尼崎市では、提案型事業委託制度を始めているが、当市でも検討してはどうか。
- (5) 財政基盤の強化
 - ①売却対象となる普通財産の規模はどれくらいと考えているか。またこれの寄与額はどれくらいと予測しているか。
 - ②公共資産総合計画はいつまでに策定するのか。
 - ③行政財産の中で、普通財産に転換できそうなものはないか。
 - ④ふるさと納税の成果をどれくらい期待するか。

6 月 10 日

6 人目

7 番

西 川 美佐保
(60 分)

- ⑤西口区画整理のために確保した市有地の固定資産税相当額は25年度でどれくらいになるか。
- ⑥区画整理事業の進捗を見ながら、地域内の市有地の有効活用を図るべきではないか。
- (6)補助金の見直しは、どのような体制で行うか。第三者による方法を導入すべきではないか。
- (7)定年延長と役職定年については、いつまでに結論を出すのか。

2. 稲作体験事業のこれから

(1) これまでの経緯

- ①地区委員会主体の事業は、どんな目的・経緯から始まり、どのように変わってきたか。
- ②教育委員会主体の事業についてはどうか。
- ③事業を支える仕組み（人・場所）についてはどうか。
- ④収穫したお米の配分はどのようになっていたか。

(2) 今年からは

- ①今年からはどのような体制で進めるか。
- ②事業を継続するのなら、田んぼを管理していく仕組みも見直す必要があると考えるがいかがか。

1. 市の観光と産業の連携について

(1) 4月に1か月間開設された「観光案内所」での売り上げや様子、反応、今後の展開などについて伺う。

(2) 「羽～杜プロジェクト」等について

- ①「羽～杜プロジェクト」がスタートし、10のプロジェクトがあると聞いているが、その内容について伺う。
- ②「はむら花と水のまつり」での「羽～杜プロジェクト」の様子はどうだったか。また、今後の地域資源を活かした取り組みは、両市の情報の共有も含め、どのように図るのか。

(3) その他、観光と産業「農・商・工」の活性化について

- ①北杜市との連携をさらに進め、企業間交流、市民間交流を推進するために「羽杜（ほと）バス」（仮称）の定期便等、民間活用も含め、物、人を運んではどうか。
- ②農産物直売所の充実のため、加工品等を他市と連携して種類増を図ることで、さらなる買い物客の増員が見込めると思うが、市はどのように考えるか。
- ③農産物直売所を「道の駅ミニ版」のように、すぐそばに商業施設も併設し、地元産の野菜を活用したレストランの運営等、人の集まる場所の創出を。

6 月 11 日

7人目

3番

中 嶋 勝
(60分)

④市内で営業する中小企業支援のため、「特許又は実用新案」の出願料などへ補助金を出してはどうか。

(4)市の公式キャラクター(ゆるキャラ)の応募後の活用について伺う。

2. 市民が健康で、老後も安心して過ごせる支援体制について

(1)特定検診・特定保健指導計画について

①ジェネリック医薬品に変えることで、医療費の削減効果は出ているのか。

②「重複・頻回受診者への訪問事業」と「生活習慣病重症化予防に重点を置いた取り組み」などを今後どのように行っていくのか。

③レセプトデータの分析から、課題となっている特定疾病の改善を具体的にどう図っていくのか。

④40歳未満の国保の方への定期検診の機会として、30歳、35歳など節目検診をおこなってはどうか。

(2)終末期医療について

①誰もが人生最後をどのように迎えるのかは大きな課題と考えるが、終末期医療についてどう捉えているのか。

②終末期医療には様々な課題があり、それらを広く周知したり、学んだりする機会が必要であると思うが、市で、セミナーやエンディングノートの周知、活用等を推進してはどうか。

③市民の在宅医療や訪問介護等を支えてくれる医師や病院、看護師や介護施設はあるのか。

3. 子宮頸がん予防ワクチンについて

(1)これまで市内で、23年度、24年度にどのくらいの方がワクチン接種され、そのなかで重篤な副反応について報告はあるのか。

(2)子宮頸がんワクチンの必要性について市はどのように認識しているのか伺う。

(3)細胞診の検診だけでなく、HPV検診を併用することで、より予防効果が高まると考えるが、市としての考えを伺う。

1. 防災対策は進んでいるか

(1)新たな地域防災計画の進捗状況とポイントを聞く。

(2)地域における防災について

①災害時要援護者対策の現状と今後を聞く。

②自主防災リーダーの継続的な育成とさらなる技能向上を望むが、いかがか。

③今年の総合防災訓練の内容と特色を聞く。

6月11日

- (3) 災害時には全国からの多くのボランティアの方々にお願いする事になると思うが、その受け入れ体制はどのように考えているか。
- (4) 政府が自治体向けに指針案を出した「防災に女性の視点を取り入れる」事については進んでいるか。
- (5) 非構造部材の耐震化への対策はどうか。
- (6) HUGを含めた防災教育の取り組みはどうか。
- (7) 富士山の噴火に対する防災対策がいくつかの自治体で発表されているが、羽村市にも影響が出るものと思われる。市ではこの火山対策をどう進めていく考えか。

2. 東京多摩国体の大成功を！

- (1) 国体まで3か月余り、全体の準備状況と各関係機関との調整状況等を伺う。
- (2) 「多ければ多いほど良い」と言われる市民ボランティアの参加状況と見通しを伺う。
- (3) 招待者リストに友好市や災害協定市、被災地の関係者も入れてはどうか。
- (4) おもてなしの心でお迎えするために
 - ① 4日間で約2万人がここ羽村市に来訪すること。国体期間中、同時開催としての市内の催し物を何か考えているか。
 - ② ポイ捨て禁止等の条例が施行され効果が表れてきてはいるが、きれいな羽村市でお迎えするためにポイ捨てや犬のふんの重点的な見守りが必要と思うがいかがか。
 - ③ この機会に羽村市をどうアピールしていこうと考えているのか。

3. 自然休暇村の今後について

- (1) 今後4年間で2社共同体の新たな指定管理者に代わったが
 - ① スタートしてまだ2か月だが、宿泊数とお客様の声やアンケートの内容を伺う。
 - ② サービスの特徴は何か。
 - ③ 2社共同体のメリットは何か。
- (2) お客様に喜ばれる自然休暇村に、またお客様を増やすために市としてどのような計画を持って進めていく考えか。
- (3) すでに25年目、大規模な修繕が必要になってきているが今後の計画を伺う。
- (4) 4年後には30年間にわたる借地権の期間満了を迎えるが
 - ① 継続するとしたら契約期間をどう考えるか。
 - ② 解消するとしたらどんな支障が出るか。
 - ③ 継続するかしないかの結論はいつ出すのか。

1. さらなる継続的な被災地支援を

- (1)被災地支援について、どのようなニーズがあり、市として、出来ることは何かと考えているか。
- (2)被災地の状況を見る、聞く、教訓にする、防災・減災について学ぶなど、被災地を実際に訪れ、得るものは非常に大きい。
 - ①小・中学校で、被災地を訪ねる移動教室や修学旅行など検討すべきでは。
 - ②一般市民を対象に学習訪問ツアーを実施してはどうか。
- (3)従来から関係している、羽村市と被災地域との関係強化を図るべきと考えるがいかがか。
 - ①商工業、観光分野について。
 - ②市民レベルでの交流について。

2. 道路維持保全計画について

- (1)今後 10 年間の道路補修計画に表されていない道路についてはどのような考えか。
- (2)市内の代表的な 3 橋、羽村堰下橋、羽村橋、堂橋を含め 7 つの橋梁を市が管理している。この 3 橋以外の 4 橋の名称と具体的な位置を聞く。
- (3)震災時の避難路、運搬路となる、羽村堰下橋、羽村橋、堂橋の市内 3 つの橋梁および、田用水路の 4 橋の昨年度に実施した耐震診断結果はどのようなものだったか。
- (4)その耐震診断の結果からどのような対策が必要で、それをいつ行うのか。
- (5)市道 101、102 号線（市役所通り）道路改修事業の時期と内容を聞く。
- (6)羽村駅自由通路の拡幅等整備について各方面と協議中と思われるが、その経過、状況と、整備完了時期の見通しを聞く。

3. ヘルプカードの充実・拡大について

- (1)ヘルプカード配布対象者数と配布数を聞く。
- (2)ヘルプカードについて市民の方からどのような声を聞くか。
- (3)ヘルプカードの普及率向上への取り組みを聞く。
- (4)支援する側の方々へ認知、意識の向上への取り組みを聞く。
- (5)配布対象者以外に、「ヘルプカード」の配布を希望する方への対応は。
- (6)「救急医療情報キット」の普及状況と今後の課題を聞く。
- (7)「緊急時連絡カード」の普及状況と今後の課題を聞く。

1. 高齢社会に対応したまちづくりを

- (1) 羽村市における高齢化の現状と居住実態の変化、今後の見通しをどう予測しているか。特に単身者と夫婦のみの世帯の推移はどうなっているか。
- (2) 羽村市でも各地域での老人会の活動が活発に行われている。公共施設を利用していることが多いと思うが、バリアフリーの促進をはじめとして、どのような要望が寄せられているか。
- (3) 3月議会で、e-市場以外での買物弱者対策を要請したが、その後、具体的対策は練られたか。
- (4) 子どもと高齢者が交流し触れ合うことの効果が注目されている。各学校での授業や給食、放課後子ども教室、町内会・自治会の催し等、市内ではどういった取り組みがなされていると聞いているか。また、子どもと高齢者の交流事業を積極的に推進していく考えはあるか。
- (5) 羽村市は、複合型小規模多機能施設の設置を計画しているが、その現状と今後の対応を聞く。
- (6) 国は、介護・医療と連携して高齢者を支援するサービスを提供する住宅を確保するための、サービス付き高齢者向け住宅の推進を図っている。新たに始まったこの制度に対する羽村市の取り組む姿勢を聞く。

2. マンション対策を推進せよ

- (1) 近年の居住形態の変化に伴い、市として共同住宅・マンションの実態の掌握に努めてきたか。努めていないのであれば、実態を掌握する必要があると考えるがいかがか。
- (2) 以下、市としてマンション管理組合等を支援していく考えはないか。
 - ① マンション独自の防災マニュアルの作成アドバイスや、防災訓練やコミュニティづくりのアドバイス、地域防災情報の提供など、マンションの防災対策強化について。
 - ② マンションの自主防災組織の創設について。
 - ③ 都が作成した、『マンション管理ガイドライン』を市として各管理組合に周知しては。
 - ④ 東京都はLCP（住宅情報登録・閲覧制度）を実施している。これは、停電時でも水の供給やエレベーター運転に必要な最小限の電源を確保することで、自宅での生活継続を可能とする集合住宅を目指すものである。この制度の普及・促進について。
 - ⑤ 個々のマンション管理組合をつなぐ取り組みが各地で始まっており、各管理組合が連携しながら管理運営能力を高めあい、コミュニティを醸成している。羽村市でも自主的にこのような取り組みが始まれば、市として何らかの応援ができないか。

10 人目

17 番

門 間 淑 子
(60 分)

- (3) マンション対策に関わる助成制度について聞く。
- ①羽村市は、ある一定の基準を設けて木造住宅の「耐震診断」および「耐震改修」に要する経費の一部を助成する制度を開始している。この制度をマンションにも適用していく考えはあるか。
 - ②マンションの維持管理を計画的に進める長期修繕計画の作成費用を助成する考えはあるか。
- (4) 一般的な居住形態となっているマンション対策として、条例を制定して取り組んでいる自治体が増えている。羽村市として（仮称）マンション条例を策定する考えはないか。

3. 特別支援教育の報告書について

- (1) 報告書に示された内容を踏まえ、今後の特別支援教育のあり方を問う。

6 月 11 日

11 人目

11 番

馳 平 耕 三
(60 分)

1. 共通番号制度で個人情報はどうなる？

- (1) 共通番号制度による市民のメリット、デメリットは何か。
- (2) 共通番号制度と住民基本台帳ネットワークシステムの違いはどこにあるか。
- (3) 共通番号制度でプライバシーはどのように守られるか。
- (4) 2016 年施行開始とされているが、羽村市の準備はどのように進められるか。
- (5) 新たなシステム構築になるが、市の費用負担はどれほどになるか。
- (6) 民間利用についてどのように考えるか。
- (7) 羽村市の住民基本台帳ネットワークシステムの構築・運営に使われた費用は 24 年度末で総額どれほどか。
- (8) 羽村市の住基カード発行枚数は、24 年度末で総数何枚か。

2. 道路照明灯の省エネ化について

- (1) 公共施設における照明灯の省エネルギー計画は、いつ、どのように策定されるのか。
- (2) 道路照明灯の省エネ対策は、どのように進められるのか。

6 月 12 日

1. 急速な高齢化にどう備えるか

- (1) 現在、羽村市在住の高齢者で、特別養護老人ホーム等への入所待機者は何人いるか。また、2035 年、今のペースで入所待機者が増え施設の増加が無い場合、何人の待機者が出ると考えられるか。また予想される待機高齢者の増加に、今後どう対応する考えか。
- (2) 高齢者が住み慣れた場所で安心して暮らし続けていく地域＝エイジング・イン・プレイスを

目指し、福祉施策を展開していく必要があると考えられるが、高齢者の尊厳を守り、自立を支援する環境を守るため、どのような具体策を考えているか。

- (3) 急速な少子高齢化は財政にも大きな影響を及ぼす。2035年、労働人口の減少による歳入の減少と高齢化に伴う扶助費など歳出の増加は、2005年と比較するとどう変化するか。また、こうした、歳出の増加にどう対応していく考えか。

2. 教育施策の進捗度を問う

- (1) シラバスの策定は各学校でどのように進んだか。
- (2) 食物アレルギーに伴うアナフィラキシーショックに対応するエピペンの各学校への配布と、教員・保護者への使用についての講習はどの程度進んだか。
- (3) 囲碁や将棋の学習に対する効果は全国から、益々報告されるようになってきた。羽村市内の小中学校では、どう利用されるようになったか。
- (4) 小中一貫教育の実施に伴い、中1ギャップが解消されて不登校の生徒は減少することが予想されるが、市内の3つの中学の、小中一貫教育実施前と実施後、不登校生徒の数はどう変化したか。
- (5) 新学習指導要領の完全実施は、これまでゆとり教育に慣れ親しんできた児童生徒には影響が大きく、市内の児童生徒からは、「勉強が難しくなり、ついていけなくなった。」という声をよく聞く。また、教員の間にも戸惑いがあるという声も耳にする。羽村市教育委員会では、新学習指導要領に伴う学習内容の増加や難化に対して、教員や児童生徒の声を集約したか、またどう総括しているか。
- (6) 安倍内閣では、教育委員会制度改革が行われようとしている。教育再生会議では、教育行政の責任者を教育長に集中させるという案が示されたが、レイマンコントロールの観点から、市長、教育長はそれぞれこの改革案をどう考えるか。

12人目

1番

印 南 修 太
(30分)

1. 次世代につながる市の商業活性化について

- (1) 西口の区画整理事業について
- ① 環境に配慮した街づくり、そして観光の玄関口という新たな西口のコンセプトに商店街(5~7店ほど)をつくる計画はあるか。
- (2) 商工会の特産品開発に、市として協力(桜の提供)できないか。
- (3) 羽村PR作戦について
- ① 観光(PR)課を新設し、羽村シティプロモーション会議の準備会や、商工会商業部会が実施した「はむらプチマルシェ」のデータを元に、専門的に進めてはどうか。

6月12日

1. 保育園の待機児をゼロにしよう

- (1) 待機児童の現状はどうなっているか。
- ① 保育園の待機児は何名か。
 - ② 認可保育園への入園を希望したが、入れなかった子どもは何人か。
 - ③ ①と②の人数に違いがある場合、その理由は何か。
- (2) 待機児を解消するために、今後、どのような方針、計画で取り組んでいくか。認可保育園の定員拡大が必要との考えをもっているか。
- (3) 保育料について
- ① 認証保育所、認定こども園、保育ママの利用料と認可保育園の保育料との差額はいくらか。
 - ② 保護者の負担軽減をはかるために、差額補助制度が必要ではないか。
 - ③ 一時保育、定期利用保育の利用料を引き下げるべきではないか。

2. 「税金が払えない」という声にこたえて

- (1) 市民税、固定資産税、国保税の滞納状況について
- ① 滞納の実態はどうなっているか。
 - ② ①の所得階層別の内訳はどうか。
- (2) 市民税、固定資産税、国保税の減免制度について
- ① どのようなケースで減免がなされるのか。
 - ② 市民にはどう周知されているのか。
 - ③ 適用となった件数は何件か。どう推移しているか。
 - ④ より利用しやすい制度へと拡充する必要があるのではないか。
- (3) 納税猶予制度について
- ① どのようなケースで猶予がなされるのか。
 - ② 市民にはどう周知されているのか。
 - ③ 適用となった件数は何件か。どう推移しているか。
 - ④ より利用しやすい制度へと拡充する必要があるのではないか。

3. 公共料金の値上げストップを その①

- (1) 決定された「使用料等適正化のための基本方針」では、「受益者負担の原則の徹底」「施設のサービスの性質による負担区分」などが掲げられている。この考え方にもとづくと大幅に値上げとなる使用料などがありえる。仮にこれらの基準をそのまま当てはめるとすると、「コミュニティセンターホール」「武蔵野公園野球場」「印鑑証明手数料（窓口扱い）」の料金は何%の引き上げとなるか。
- (2) 市民誰もが生涯を通じて多様な活動に取り組んでいける条件整備をはかることが市には求められていると考える。そのためには、「受益者

14 人目

16 番

船 木 良 教
(60 分)

負担」を強調するのではなく、「公費負担の重要性」をしっかりとふまえることが重要だと考えるが、市の考えはどうか。

6 月 12 日

1. スポーツ施設について

- (1) 少年サッカーをはじめ、スポーツはルールや体力、礼儀、仲間作りなど、男女問わず、人格形成には欠かせない要素を多く含んでいる。特に少年サッカー場などの整備については、以前より要望しているが、いかがか。
- (2) (1)の整備にかかる財源確保について、国・都の補助金や基地交付金等はいかがか。
- (3) (1)の候補地について考えはいかがか。
- (4) サッカー場の建設に関する、障害となっている問題は何か。
- (5) フットベースボールやキックベースなど青少年対象の球技をする場所について、認識と取り組みはいかがか。
- (6) 住宅用地として確保されたままの小作台 5 丁目 18 番地の空き地を、フットサルなど狭いフィールドでもプレーできる施設として整備してはどうか。

2. 生涯学習について

- (1) 北杜市との関係について、今後どのような構想を描いて、どのように醸成すべきと考えているのか伺う。
- (2) 教育、経済、環境、生涯学習等においても、北杜市と連携して人材育成に取り組むことは、双方にとって有意義なことと考えるがいかがか。
- (3) 今後の北杜市との関係はどうあるべきと考えるか。
 - ① 教育の観点からはどうか。
 - ② 経済の観点からはどうか。
 - ③ 環境の観点からはどうか。
- (4) 北杜市清里の「萌木の村」で実演されている大型オルゴール演奏はすばらしい音色を楽しめる。「ゆとろぎ」での演奏が可能と聞いているが、計画の進捗状況はいかがか。
- (5) 清里の「萌木の村」で行われているオルゴール演奏と野外のクラシックバレエは、世界最大級で超一流と聞いている。「ゆとろぎ」でその開催を望むがいかがか。

3. その後の治安対策について

- (1) 特に違法駐車や客引き行為は後を絶たないことから、さらなる取り締りの強化を望む声が多い。すでに一般質問でも問題を提起しているが、その後の違法駐車、客引き行為への具体的対策はいかがか伺う。

15 人目

9 番

山 崎 陽 一
(60 分)

- (2) 110 番通報の傾向や近隣自治体への協力依頼などの現況はいかがか。
- (3) 防犯カメラ設置説明会での市民の反応はいかがか。
- (4) 今後の防犯カメラの設置予定や、機器や情報管理について（場所や能力等で公表できる範囲内）はいかがか。
- (5) 防犯カメラにかかる財政的負担はいかがか。
- (6) 小作地域だけでなく、羽村市内で設置の要望や必要性があるところは把握しているか伺う。

1. 区画整理撤回要求 第 25 弾

- (1) 換地設計（案）の問題点について聞く。
 - ① 換地設計の施行者案を審議会に示すそうだが、いつになるか。審議会は公開が原則である。
 - ② 仮に換地設計決定の通知を送付するならわかり易い書類を求める。墓地跡、井戸跡の重ね図も求める。
 - ③ 国土交通省が建設労務単価を 15% 引き上げた。消費税率も引き上げ予定。建築資材費も上昇する。総事業費、委託費への影響にどう対応するのか。
 - ④ 4 月 30 日の都政新報の市長インタビュー「今期中に槌音を響かせたい」とはどういう意味か。
 - ⑤ 3 月 29 日の西多摩新聞のインタビューにある「新住民」とは誰を指すか。
- (2) エリアマネジメントは補助金目当てか。
 - ① エリアマネジメント調査報告書が出たそうだが、その内容と、住民にどう説明するか聞く。
 - ② 区画整理事業との整合性、問題点は何か。
 - ③ 「ウッドチップ歩道実証実験」も補助金を活用しているが、成果は活かされたか。
- (3) 塩漬けの都市整備用地を有効活用せよ。
 - ① 都市整備用地は、どのように利用されているか。
 - ② 未利用地はどれほどあるか。利用予定はあるか。
 - ③ 税金での購入だ。市民の利便性向上のため、積極的に活用すべきではないか。

2. 羽村市道路維持保全計画と区画整理の関連が不明だ

- (1) 道路維持保全計画の期間 10 年は短い。30 年にすべきではないか。
- (2) 道路維持保全計画と区画整理の関連はどうなるか。
- (3) 建物、上下水道も含めたインフラの全体的な維持補修計画にし、更新費用も試算すべきではないか。

6 月 12 日